# ふれあいのひろば

## 新年度に於いても努力を地域の活性化を図ること

町会長　堤　秀夫

町会員の皆様方、委員、理事役員の皆様方には平成22年度の一年間、本当にお世話になりました。お蔭様をもちまして、異常気象はありましたが、無事に活動する事ができました。昭和37年～38年頃に始まった経済の高度成長によって、社会情勢は大きく変貌し加えて少子高齢化に基づく様々な問題が起ってきました。この平間地区でも大変な高齢化した地域となっております。加えて旧多摩川河川敷の上に位置する地理的状況、密集した木造住宅地といった災害に弱い地域であると言われております事を考えますと、町会として何をなすべきかという事を常に前向きに考えていかなければなりません。

私は全国の町会、自治会活動の事例を参考にしたいと思って図書館通いをしたことがあります。そこで判ったことは学者の調査では、市街化した地域、いわゆる都市では町内会、自治会の活動は自滅していて全く機能していないという事でした。

人々の繋がりは僅かに、趣味の会とボランティア活動に過ぎずこれでは点々とする繋がりで、面はカバーできず、コミュニティが成立っていません。

第二町会では阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、このコミュニティを復活させようと試行錯誤しながら隣組の醸成、趣味の会を通じた地域の人たちの触合いの場を造ろうとしております。

皆様方のご理解とご協力を賜わり、また、ご指導とご鞭撻をお願い申しあげる次第です。

平成23年　正　月

## 町会活動見直し検討チーム　プロジェクトチームを編成

かねてから役員の間から提言のありました町会活動の一層の活性化をはかるため、検討をする為のプロジェクト・チームをつくりました。このプロジェクト・チームは6つのチームから成り、次の様になります。つきましては、活発な意見交換がなされ住民自治の理念にもとづいた実現可能な提言が出される事を期待するものであります。

（チーム名）

◎人材掘り起こしチーム
　リーダー　井出宏夫
　サブリーダー　鈴木治夫

◎高齢者見守り対象の洗い出しチーム
　リーダー　黒沢六次
　サブリーダー　江原照子

◎災害救助ネットワークの啓蒙啓発と深化浸透を図るチーム
　リーダー　草薙貞夫
　サブリーダー　持木幸子

◎廃棄物不法投棄の防止方の検討チーム
　リーダー　丹野政記
　サブリーダー　茂木久夫

◎青少年の健全育成方策の検討チーム
　リーダー　加藤秀樹
　サブリーダー　松森礼子

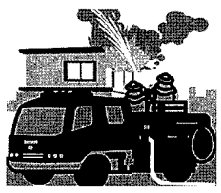
◎地域交流活性化の為の『趣味の会』の活性化を図るチーム
　リーダー　秋元宏之
　サブリーダー　佐藤米三
　サブリーダー　小島八重子

なお、これらのチームは、町会長、会計、全部長で構成される町会活動推進検討委員会の付属機関として位置付けられる事となりました。

町会長　堤　秀夫

## 住宅用火災警報機の集団購入　50軒　124個　購入

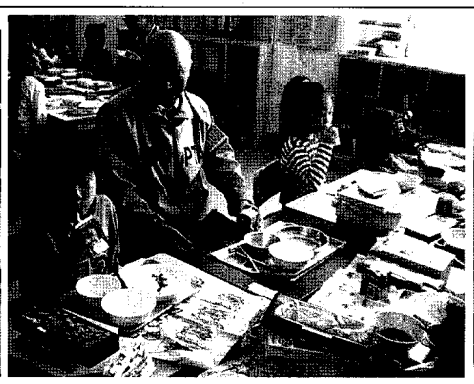
消防法の改正、川崎市の条令の制定により、この6月から住宅用火災警報機の取付けが義務化されました。町会では消防署の指導に呼応して、昨年12月に集団購入の斡旋をいたしましたが、結果は五〇軒一二四個の購入がありました。しかしこれで全住宅に設置ができたとはとても思えません。町会としましては、未設置のお宅は生命財産を守るため、是非とも早急に取付けられる事を要請します。



かわら版

平成23年４月１日発行
上平間第二町会
編集責任者
堤　秀夫
印刷所　長谷川印刷㈲

五町会連絡協議会　町会婦人部が接待



学校と地域の交流　平間小学校招待

ミニ・ディサービス　２月度誕生会
（民生委員とスタッフも参加）

ミニ・ディサービス　合　唱

## 〈平成22年度川崎市わたしの町のすこやか活動支援事業事例集～４年目〉

## 玉川地区　すこやか活動地域推進委員会　代表：山上正さん　中原区

活動のテーマ
**高齢者が健康で生き生きと暮らす街づくり**
ひきこもり、閉じこもりの無い地域づくり　趣味の会を通じて皆が知合う地域づくり
安全、安心に暮らせる見守りネットワーク。

久しぶりの訪問に
笑顔で応える皆さん

カラオケは毎月２回

囲碁・将棋の会は毎月２回

健康体操は毎月４回

**地道な見守り活動で**
**高齢者と地域の接点を**

## 詩　ひらまの野鳥

河原鶸（ひわ）

歳時記には春の鳥として選ばれている、どこでも見かけるかわいい小鳥だ。

雀くらいの大きさで、色もよく似ているのだが、翼には黄色いきれいな羽根が混ざっていて、これが目印。

そうして、澄んだ声で、ラリルレロを転がすようなとでもいうほかない、美しい囀（さえず）り方をする小鳥なのである。

こんな一種類を知っているだけでも、毎日はちょっと楽しくなった。

電線の一羽の鳴き声にも足が止まるし、郊外へ出れば何十羽という群れを見つけたりもする。

ある夏。

庭で種を付けた大きな向日葵（ひまわり）の花が倒れかけたので、根元から切って立てかけておいた。

すると、いつのまにか少しづつ、種は減ってゆくのである。

花の円に沿いながら、のの字を書くようにして、順番通りに律儀に最後の一粒までが食べ尽される。

河原鶸だった。

あの、翼の黄色い紋は、向日葵の花のせいなのかもしれないな。

（井蛙）

■■■